

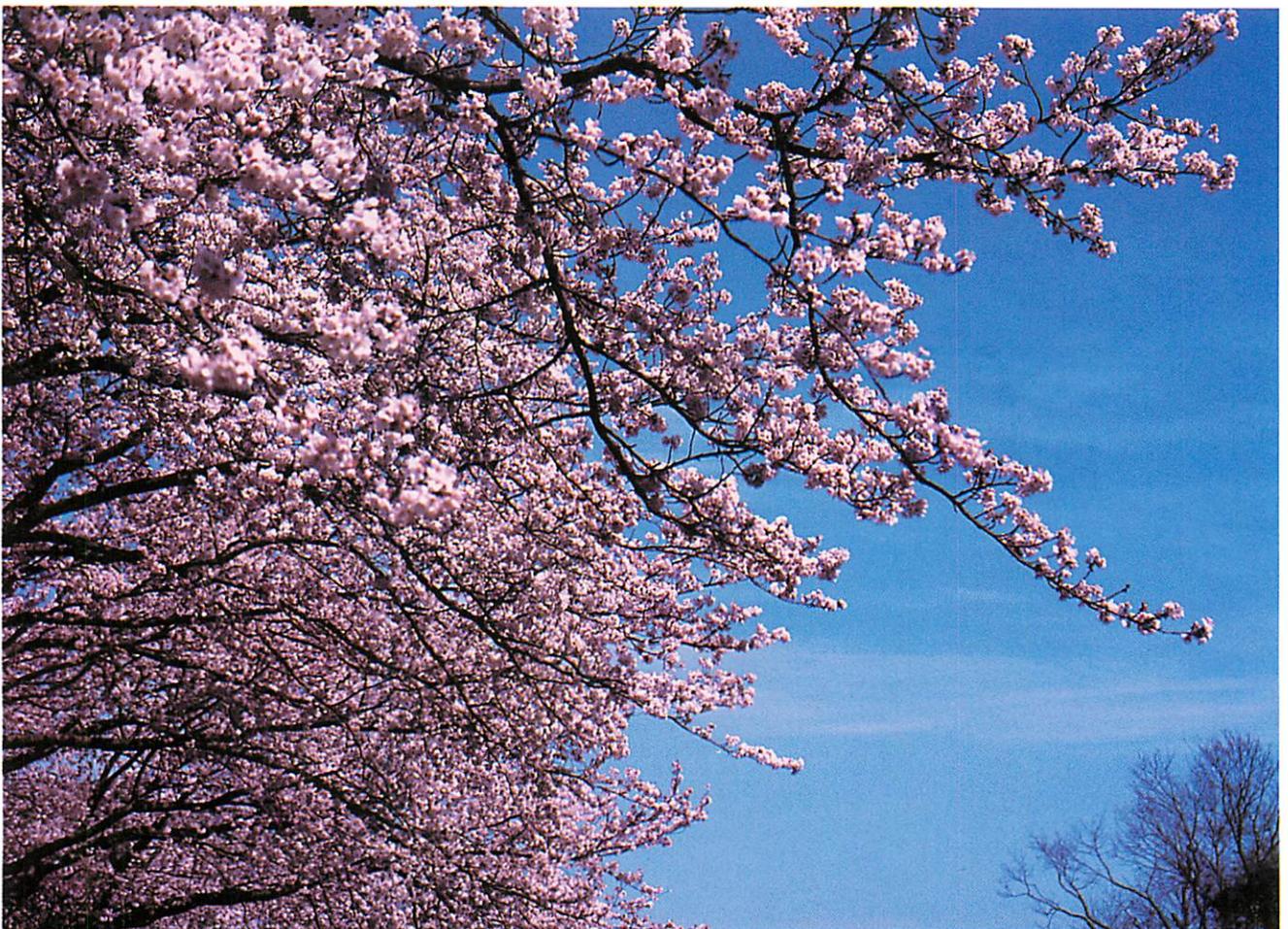
2001年

4

月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No.99



写真：「あふれる春」乙黒 勝さん（津田山にて）

もくじ

- 2 特集 インタビュー 松下 充孝・教育長
 - 6 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 8 イベントパーク
- お知らせ…スポーツ施設の使用料改定 ほか

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1

TEL 044(733)5560(代) ステージ・アップ 044(733)5811 / FAX 044(739)0085

特集

インタビュー

松下 充孝・教育長

いまを話す

題字：高橋 清 市長



松下教育長は、心底から子どもが好きの方です。ご自身の子ども時代のことや校長時代の児童とのふれあいなど、相好をくずし、身をのり出して話しておられました。現在、国や地方自治体では、積極的に教育改革が行われています。

川崎市では、1986年「教育懇談会」より市長に提言された『いきいきとした川崎の教育をめざして』をもとに、地域からの教育改革をめざし、教育事業を推進してきました。

昨年、全国で初めて制定された「子どもの権利に関する条例」を受けて建設される「子ども夢パーク（仮称）」や、市立高等学校・市立幼稚園など、21世紀の教育の方向を伺いました。

子どもは人類のホープ

— 地域教育力生かし特色ある学校づくりを —

— 就任されて3年目、ますます多忙な教育長に、これからの子どもたちをどう育てて行かれるのか、教育に期待されることなどについて伺いたいと思います。まず、教育長の小さいころの話をお聞かせください。ふるさとどちらですか。

教育長 私は鳥取で育ちました。鳥取砂丘近くを流れる千代川せんたいがわの西側にある賀露がろで、小・中・高等学校まで過ごしました。

— その頃のことで、特に思い出の深いことは。

教育長 ときどき、小学校の校歌を思い出します。「北に洋々日本海、背には中国山脈の流れに集う賀露の友、賀露健児」という歌詞です。漁業や農業が中心の土地で育ったものですから、子ども時代はよく遊びました。遊びの中でいろいろな体験ができたわけです。いつも群れて遊んでいましたよ。チャンバラごっこしたり、鬼ごっこしたりと…。朝から夜寝るまで遊んだり、いたずらしながら育ってきましたね。

— やんちゃ坊主だったんですね。

教育長 ええ、もう十分に堪能しました。

— 校歌を覚えておられるとは、すばらしいですね。

教育長 僕は小さい時から先生がすごく好きでした。小学校時代はいたずらをして廊下に立たされたり、バケツ持たされたり、年中申かられてばかりでした。小学校を卒業した時に、父から「おまえは、学校で一番迷惑をかけたんだから、先生の家へお礼に行くように」と言われ、一升瓶を持たされ、6キロも7キロも離れた先生の家まで友達と自転車で行きました。先生の家はりっぱな農家で、一番いい座敷へ通されました。我が家にはないような、厚みが十センチ以上もあるきれいな座布団に座られました。こんなに子どもを大事にしてくれる、お客さんとして扱ってもらったことが心に残っています。

— 先生との、そのようなふれあいが、教師になるきっかけになったのでしょうか。

教育長 そうかもしれませんね。中学生になると宿直の先生と学校に泊って、話をしたりサツマイモをかじったりしたこともありました。その先生から「おまえはよく

失敗ばかりするけれども、失敗は成功の元だから、ゆっくりやったほうがいいよ」といつも励まされました。たくさん先生の助けられて育ったなあと思います。

— 今のお姿を見ていると、そんなことは想像もつきませんね。その後、大学を出て、小学校の教師となり長い年月、子どもたちとかかわってこられたのですね。教育長に就任される前は、金程小学校の校長先生だったそうですが、そこで印象に残っていることはありますか。

教育長 たくさんありますが、ある一年生が書いた作文が心に残っています。入学式で一人ひとりと握手したのですが、その中に一人だけ左手を出した子がいたんですよ。右手でずっと握手してきたものですから、僕も一瞬とまどいました。そこですぐに右手を引こめて左手で握手したんです。それから二週間後、「学校探検」の時のことです。「学校探検」というのは、一年生が教室以外の部屋を訪ね歩くのですが、校長室にもきました。



入学式では一人ひとりと握手
(金程小学校長時代 提供写真)

「ああ、頑張っているね」と子どもたちとまた握手をしました。僕は物忘れが激しいのですが、例の子どもの番になったとき、入学式でのことを思い出し、今度はすぐに左手を出して握手をしたんです。そしたら、その子が「こうちょうせんせいとあくしゅ」という作文を書いたんですよ。「入学式のときはうまく握手できなかったけれども、学校探検の時はすぐに左で握手してくれた。ぼくのこと覚えていてくれてものすごくうれしかった。3回目の握手はいつかな」という内容でした。子どもとの結びつきは、こういう具体的なことがあってできるということを教わって、この子に感謝しています。

— ほのほのとしたお話ですね。ところで、教育長になられて2年が過ぎました。いま、国では、さまざまな教育改革が進められていますが、教育長のお考えや抱負をお聞かせください。

教育長 20世紀は「子どもの世紀に」と言われながら、しかし「戦争の世紀」になってしまいました。21世紀こそ「子どもの世紀」にしたいと思います。子どもたちに

対して、かけがえのない命を大切に、すくすく育ってほしいという思いがいつもあります。

童謡「ぞうさん」の作詞者で、詩人のまどみちおさんが「子どもは親や先生のホープ、希望である」といわれました。私も、子どもは、川崎市や日本のホープであると同時に、世界や宇宙のホープでもあり、人類にとって一番のホープだと思うのです。そういう子どもたちが夢と希望を持って元気で活躍する世紀にしたいと強く願っております。

— 国では、「生きる力をはぐくむ」ことを基本に改革が進められているようですが。

教育長 国際化や情報化がさらに進展して、いっそう変化の激しい時代になった時に、そこに生きる人は、状況に応じて適切に判断し行動しなければなりません。そういう時代に生きる人には3つの力を育てることが必要と言われています。

1つは、自ら課題を見つけて、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、より良く解決してゆく能力。

2つ目は、自らを律しつつ、他人と協調し、他を思いやる心、感動する心など、豊かな人間性を育てること。

そして3つ目は、たくましく健やかに生きてゆくための健康と体力を育てること。この3つが改革していく上での基本になっています。

この基本は川崎市でも変わらないわけですが、教育改革のもう1つの視点は、地域に根ざした教育をやっていこうということです。本市では「川崎らしい教育を学校もPTAも地域も、関係するみんなで力を合わせて創っていくんだ」という風土があります。今まで、「子どもは元気か、親は元気か、教職員は元気か」を問い直しながら、川崎の教育を推進してきました。

その中で、「教育の社会化」「地域の教育化」「行政の市民化」の3つを政策の重要課題として取り組んできました。

「教育の社会化」というのは、学校だけが変っていくのではなく、地域の文化や生活を大事にし、それを取り



入れることによって学校教育の中身を豊かにしようということ。地域の人も学校の内容がよくわかる、そういう事を教育の社会化では問われているんです。

それから「地域の教育化」というのは、地域の中にも子どもたちが育つ場、環境を整えていこうということです。子どもたちは、やはり地域や家庭の影響が大きい。学校と家庭と地域が連携をしながら子どもたちを育てていきましょう、ということです。

「行政の市民化」というのは、行政がいま持っている情報などを開いていき、市民をパートナーとしてこれからいろいろな政策を展開していくということです。川崎の社会教育がそうですが、市民自治、つまり市民が主体的に地域づくりに参加することで社会教育を推進してきました。いまではパートナーシップ事業が各方面で実施されています。市民と行政が力を出し合い、手を携えて創っていくことがどんどん増えていくようになっていきます。

これからの教育は、総合的な学習を含む、地域に根ざした「特色ある学校づくり」が必要です。そのためには、校長先生と先生方の創意工夫を生かした教育活動に、保護者、地域も一体になって取り組んでいくことが、もめられています。

活動拠点「夢パーク」に 子どものアイデアを

— 川崎はこれまで、常に新しい発想で取り組んできましたね。昨年12月の議会では「川崎市子どもの権利に関する条例」が全国で初めて成立しました。これをうけて、「子ども夢パーク（仮称）」建設の計画もあるそうですが、どのようになるのでしょうか。

教育長 「子ども夢パーク」は、南武線津田山駅近くの日本ヒューム管跡地に、川崎の子どもの、子どもによる、子どものための全市民的な諸活動の拠点として、子どもが自分の責任で自由に遊び、体験できるプレイパーク的な場所として整備します。そこで、「川崎子ども・夢・共和国」の取り組みや、「川崎市子どもの権利に関する条例」を具現化していく場として、子どもたちがアイデアを出し、自分たちの活動拠点にふさわしいものに、時間をかけて作りあげてほしいと思います。そして、子どもたちが、川崎をふるさととして、世界のあらゆる人々と共に生き、世界中で活躍してほしいと願っています。

— 先に建物か何かを行政で作って、管理や運営を民間に任せる形になるのかな、と思っていましたが、もっと柔軟な発想で行うのですね。子どもたちが参画してい

ろいろなアイデアを出し合って、それを大人がサポートする形になるのでしょうか。

教育長 そうなればいいと思います。計画したのをつかってそれで終わりではなく、「夢パーク」全体を毎年つくりあげていく、そういうことが子どもの活動拠点としては大事なのではないかと思っています。1年目ではできなかったら2年目、3年目と、根気よく粘り強く、自分たちの活動拠点にふさわしい状況をつかっていく、子どもたちの発想を生かした「夢パーク」、楽しみです。



「川崎子ども集会」で（提供写真）

— 夢パークですから、こうと決めないで次の年度、つまり3年後、5年後、それぞれの子どもの時代に夢があって良いということになりますね。

教育長 そう思います。また、自分たちが創ったものは自分たちで責任を持つことも大切です。活動拠点では幼児から高校生までの子どもたちが集います。少子化、核家族の中では、年齢の違う子どもたちが一緒に何かをする機会があまりありません。「夢パーク」では、異年齢の子どもたちが教え合ったり、助け合ったりしながら、その場に合ったルールを作るようになると思います。子どもたちは、そういうことを生活の中で体験することで育つのではないのでしょうか。知らない人が集まってくる、そこで出会いお互いが確かめ合って、そして新しいものを創っていく。そういうことも活動拠点の役割です。

— ところで、川崎の市立高等学校が大きく変わることによって注目を集めているようですが、具体的には13年度からどのように高等学校が変わるのでしょうか。

教育長 市内には5校の市立高等学校があります。このたび橘高等学校が専門学科として「スポーツ科」と「国際科」を設けて13年度から再出発することになりました。商業高校と総合科学高校、川崎高校には、それぞれ専門学科があり、高津高校はスポーツ・文化面で活躍しており、各校に特色があります。川崎らしい魅力ある高校づくりのためには、各学校のよさを生かしながら、かつ5校が学校の枠を越えて連携し、相互に生徒たちの学びを

対話を積み重ね 人との関係創る

支援して行くよう考えています。

——平成15年度には公立幼稚園も大幅に変わるということですが、どうなるのでしょうか。

教育長 幼稚園教育の振興計画では、公立幼稚園の先生方が、幼児教育の実践者として培った豊かな力を活かしていくために、「幼児教育センター」をつくる計画です。そこでさまざまな幼稚園教育の研究・調査を行い、その情報を私立の86幼稚園に発信して、役立てていただくという計画を立てています。それと同時に子育てに悩まれるお母さん方の相談相手となる「子育て広場」、また「幼稚園教育の研究実践園（2園）」の教育実践を公開して、育児支援や幼児教育の向上を図りたいと思います。

——3歳までの子どもを持つ親が一番ストレスをかかえていると言われます。「子育て広場」が身近にあると、違う世代の人から、何か言ってもらうことで気づくことがあると思います。子どもを育てる場であると同時に親も育つ場になると思えました。昨今、幼児虐待がずいぶん報道されています。「子育て広場」が、そういうことも抑止できそうですね。

教育長 そうですね。子どもを育てることは大人がよりよく生きていくことにもつながり、その中でいろいろな葛藤も生じます。それを子どもに生でぶつけたのでは子どもはたまりませんよね。子育て経験のある人が、その親の思いを受けとめていく、そういう場として「子育て広場」を使っていただきたいと思います。仲間がいて相談相手がいれば、親自身が安心して子育てができるのではないのでしょうか。

——最後になりますが、教育長は子どもたちの健康をたいへん気になさっていると伺っています。「健康と心」について、日ごろ考えていることなどをお聞かせ下さい。

教育長 子どもたちの健康で意外と気がつかないのが突然死です。やはり子どもたちが命をなくすのが、教育委員会で仕事をしていて一番悲しいことです。突然死を防ぐために、川崎市は全国に先駆けて心臓病検診や腎疾患の検診、糖尿病の検診を行っています。これは医師会が、子どもたちのために、夜集まってフィルムを見たり、心電図や心音図を見たりして発見に努めておられるのです。それで事故防止がけっこう出来ているのです。今、お医者さんの間で子どもの心の健康に非常に心を砕いて頂

いて、精神保健という面でメンタルな部分の問題、例えば子どもたちの性への問題、あるいは不登校やいじめについても、校医として何が出来るかを考えていただいております。また、歯科医師会、薬剤師会にも協力いただいて、子どもたちの健康増進に努めていただいております。



この間、乳幼児精神医学が専門の先生の話をお聞きしました。今の子どもたちは精神保健上3つの課題がある、1つは孤独、子どもと向き合ってくれてくれる大人がいない、対話の不足をあげられました。それから2つ目は「持続的な緊張が高いとストレスになる」ということ。3つ目は、「子どもらしい夢の喪失、子ども時代が喪失」ということで、これは21世紀になんとしても克服しなくてはならない、と話されておりました。

その話を聞いて私は、対話を積み重ねて、人との関係を創造していくことがまず大事ではないか、対話があれば心の緊張が解けて、その思いや願いが実現して行くと思います。地域、学校、家庭、児童相談所、保育園、警察など関係機関とネットワークを結んで、大勢の人と対話を通してお互いを知ることが大事ではないでしょうか。

——21世紀のキーワードは対話。他者との対話、自然との対話、自己との対話など、対話によって、少しずつ社会が変わっていくと…。

教育長 そうです。そして、対話している自分を見つめてくれる、理解してくれるパートナーがいればこんなに人間は幸せなことではないと思います。

これからも子どもや市民の声に耳を傾けて、生涯学習の視点に立って、学校教育や社会教育を創造していこうと思います。全職員、力を合わせてがんばって行きたいと思っていますので、よろしくお願いします。

——今日はどうもありがとうございました。

松下 充孝 さん（まつした・みつたか）

1942年生まれ。64年、東京学芸大学学芸学部卒業。同年、川崎市立古川小学校教諭。84年、教育研究所指導主事。市立小学校教頭、校長、教育委員会学校教育部長を経て99年、教育長に就任。趣味は読書、旅行、スキー、野球。信条は努力すること。

●まなぶ●

「プラザ陶芸教室」 受講者募集

日常の雑事を忘れ、土の香りを楽しみながら自分と対話するひととき。この陶芸教室では好きな物を自由に作陶できます。土と遊び、土と語る、豊かな時間を過ごしませんか。

手びねりコース

- 【期間】 5月12日～9月22日の第2・4土曜 全10回
- 【時間】 13時30分～16時(片付けの時間含む)
- 【対象】 18歳以上の方(市外の方も可)
- 【定員】 15人(定員を越えた場合は抽選になります)
- 【内容】 初心者を対象に、手びねりによる成形から釉薬までの基礎を指導
- 【費用】 22,000円(材料費・焼成料込み)
- 【申込】 4月21日(土)必着で、はがきに「プラザ・手びねりコース」と明記し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、下記の申込先にお送りください。

ロクロコースA

- 【期間】 5月9日～7月18日の毎週水曜全10回
- 【時間】 13時30分～16時(片付けの時間含む)

ロクロコースB

- 【期間】 5月12日～9月22日の第2・4土曜全10回
- 【時間】 9時30分～12時(片付けの時間含む)
- 【対象】 A・Bとも18歳以上の方(市外の方も可)
- 【定員】 各10人(定員を越えた場合は抽選になります)
- 【内容】 ロクロの取り扱い、成形、削り、絵付けなど
- 【費用】 各28,000円(材料費・焼成料込み)
- 【申込】 4月21日(土)必着で、はがきに「プラザ・ロクロコースA又はB」と明記し、郵便番号・住所・氏名・電話番号を記入し、下記の申込先にお送りください。

★申込先

〒211-0064
中原区今井南町514-1 生涯学習振興事業団
学習事業室「陶芸教室」係

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626



生涯学習ア

中高年離職者のための

「パソコン講座」を開催します

学習事業室では、昨年度に引き続き「中高年離職者のためのパソコン講座」を開催します。

就職はしたいけど「パソコンが出来ないので…」としり込みしている方、まず、基礎コースから初めてみませんか。最新の学習環境の中で、経験豊富な講師がていねいに指導します。講座終了後も、パソコンに関する質問に応じる「サポートデスク」もありますので大丈夫です。

今年度の講座は回数、内容とも大幅にパワーアップしました。さあ、思いきって新しい世界にチャレンジしましょう。

●実施回数：18回(講座開始は5月)

●会場：産業振興会館(幸区)

KSP かながわサイエンスパーク(高津区)

★講座日程や内容、応募方法などの詳細は案内書をご覧ください。案内書は、4月1日から各区役所の情報コーナー、市民館、図書館、ハローワークなどで配布しています。

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

4月1日より施行

川崎市子どもの権利に関する条例

小誌では、今号から「川崎市子どもの権利に関する条例」についてシリーズで掲載します。

昨年12月の市議会において、「川崎市子どもの権利に関する条例」が成立しましたが、いよいよこの4月より施行となります。

内容は、子どもの権利保障を総合的にとらえ、条文の内容が相互に関連しあいながら、全体として実効的なものになるように、理念的規定と実体的規定をあわせた構成となっています。

条例制定の主な目的は、子どもの権利状況を改善していくことにあるわけですが、その際、条例の内容や子どもの権利についての考え方などを、市民のみなさんとともに共有化し、市と市民が一緒になって取り組んでいくことが求められています。

市民のみなさんの参加を得ながら制定されたこの条例を、今後は、市民のみなさんとともに育てていければと考えています。

次回からは、条例の内容を簡潔に紹介していきます。

ラ・カルト

●はぐくむ●

青少年教育施設 夏休み利用案内

川崎市の3つの青少年教育施設を、学校の夏季休業期間中（7月20日(金)～8月31日(金)）に宿泊利用することができます。対象は、川崎市内の青少年団体や学校・教育委員会が認めた団体（指導者に引率され、具体的な利用計画のある団体）です。各施設では、日常生活では味わうことのできない、自然体験プログラムや生活体験プログラムを組むことができます。

◆申し込み方法◆

4月30日(月)までに、各施設ごとの「夏季施設仮申込書」に記入の上、利用希望する施設へ郵送またはFAXでお申し込みください。各施設ごとに日程調整会を行いますので、必ず出席してください。詳細は、各施設にお問い合わせください。

■川崎市青少年の家

〒216-0033 川崎市宮前区宮崎105-1
☎044(888)3588 FAX 044(857)6623

- 1 定員…180人
2 使用料…5歳以上小学生まで…300円
中学生…400円 高校生…800円
大学・一般…1500円（食事代など別途）
3 日程調整会…5月13日(日)10時～12時半
場所は青少年の家プレイホール

■川崎市黒川青少年野外活動センター

〒215-0035 川崎市麻生区黒川313-9
☎044(986)2511 FAX 044(986)2522

- 1 定員…76人（2泊3日まで）
2 使用料…無料
3 日程調整会…5月20日(日)10時から
場所は黒川青少年野外活動センター

■川崎市八ヶ岳少年自然の家

〒399-0101 長野諏訪郡富士見町境字広原12067-482
☎0266(66)2011 FAX 0266(66)2014

- 1 定員…宿泊棟 370人
キャンプ場 100人
2 使用料…小学生…300円 中学生…400円
高校生以上…800円（食事代など別途）
3 日程調整会…5月13日(日)10時～12時半
場所は青少年の家 研修室1・2

ハート & ハーモニー Vol.11

筋肉痛とのつきあいかた

運動した後の筋肉痛はだれもが経験します。これを「遅発性筋肉痛」と言い、使った筋力の大きさと持続時間にしたがって強くなります。運動中にできた乳酸が溜まっているという説は、乳酸の代謝が速いことを考えると疑問で、筋肉線維の微小な損傷が原因と考えられます。

筋肉線維はアクチンとミオシンというタンパク質が、綱引きの綱をたくるよう働いて収縮する構造になっています。この構造が部分的に壊れて、再生されるときに筋肉は太くなるのです。筋肉の収縮には自分から力を出すコンセントリック収縮（階段を上るとき）と、外からの力を支えるエキセントリック収縮（下るとき）とがあります。筋肉痛はエキセントリック収縮をした後の方が、強く出ます。

筋肉痛を、磁気を用いたMRI画像で見ると、浮腫（水分増加）になっていて、筋肉内部の圧力が高くなっています。この炎症を抑えて、早く回復させることが筋肉痛を軽くする知恵ということです。

運動直後は筋肉を冷やすのが効果的です。筋肉のほてりを取るためなので、プールに入ったりアイシングで、30分以上しっかり冷やします。単なるシップでは十分とはいえません。意外なことに消炎鎮痛剤は、有効とは確認されていません。

ストレッチは、自分では収縮しかできない筋肉をゆっくり伸すことになります。使わないでいると萎縮してしまう筋肉を、ストレッチ刺激だけで保持できるので、筋肉の代謝には大切な刺激です。マッサージの効果は血液循環を良くして代謝を促進すると共に、皮膚への摩擦の刺激が鍼治療と同じ効果で筋肉痛を和らげます。

筋肉のタンパク質を再生する材料のアミノ酸補給も効果はあります。必須アミノ酸などが十分補給されていて、筋肉の再生が早くなることが筋肉痛を軽くするようです。アミノ酸はエネルギーとしても使われるので、食事制限をして筋肉を動かさないでいると、筋肉はどんどん分解されます。アミノ酸バランスの良い食品は卵白や牛乳です。

痛くても筋肉を動かして良いかどうかは、程度の問題です。軽い運動で筋肉痛は和らぎますが、痛みは一時的にブロックされているだけなので、調子に乗って動かし過ぎると筋肉線維の損傷が増えて、後の筋肉痛が大きくなります。筋肉痛が収まった頃に同じ運動を繰り返すと、痛みはずっと少なくなります。筋肉は正直です。

（健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦）

情報コーナー **イベントパーク** 講座・コンサート他

●企画展～セピアの正義

7月1日(日)まで、中村正義の美術館。正義のセピア色=写真=と原色の作品約40点を展示。一般500円、小中生200円。11時開館、月・火休館。☎(953)4936。



●写真展

スナック喫茶琴で開催。4月2日(月)～14日(土)まで、大庭秀樹のファミリー写真を▽16日(月)～28日(土)まで、幸まちづくり研究会の風景写真▽30日(月)～5月19日(土)まで、帝国通信グループの四季の写真を展示。☎(544)0507。

●講座①POP 広告②宅地建物取引主任者資格受験準備

①は5月14日～6月28日の月・木曜18時15分、全14回。場所は労働会館。商品情報などの広告方法を学ぶ。受講料12000円、教材費約3000円。②は5月15日～9月28日の火・金曜13時半、全30回。同所。受講料30000円、教材費約3000円。定員は①25人②35人、先着順。☎①②とも4月22日(日)9時から電話で。☎(222)4416。

●第4回川崎糖尿病市民講座

4月7日(土)13時から、場所はエポックなかはら。患者の体験談や最先端治療などについて専門医が講演。無料。当日直接。☎045(474)0361のノボ ノルディスク ファーマ。

●岡上分館成人学校①芸道読書②かな習字

①は4月20日～6月29日の金曜10時、全10回。②4月15日～6月24日の日曜10時、全10回。受講料各4000円。定員各20人。☎4月7日(土)10時に来館。☎(988)0268。

●岡上シルバーセミナー

5月8日～7月3日の火曜10時、全9回。岡上分館。無料。定員20人。☎4月17日(火)10時から電話で。☎(988)0268。

●青少年創作センター初夏の創作教室①陶芸②絵画

③絵手紙④トールペイント

①は5月13日～6月3日の日曜。教材費1000円。②は5月12日(土)と13日～27日の日曜。教材費1500円。①②は小中生対象。③は5月17日～6月7日の木曜。3200円。④は5月18日～6月8日の金曜。5000円。③④は成人対象。時間はいずれも9時半。定員は20～30人。☎4月20日(金)までに、往復はが

きに教室名、住所、☎、氏名、学校名・学年、性別を記し、〒214-0034多摩区三田2-3303-1の同センター。☎(911)1510。

●北部身体障害者福祉会館 講習会①入門点字②手話入門

①は5月25日～6月22日の金曜18時、全5回。②は5月22日～6月26日の火曜18時半、全6回。対象は市内在住・在勤・在学の方。定員①20人②30人。費用は①2500円②無料。☎4月21日(土)～5月7日(月)までに、往復はがきに講習会名、住所、☎、氏名、年齢、生年月日を記し、〒213-0001高津区溝口1-18-16の同館。☎(811)6631。

●会館とどろき 親子体操教室

4月～9月(8月を除く)の金曜10時。対象は3・4歳児とその保護者。費用は月1050円。先着20組。☎(733)3333。

●家族で楽しむ黒川のアウトドア!～A 森の世話して、山であそぼう! B 野菜を育てて、土とあそぼう!

Aは5月から来年3月までの奇数月の第2土曜10時。Bは同第2日曜10時。場所は黒川青少年野外活動センターと周辺。対象は小中学生とその家族。定員各30組。参加費は1家族5000円。☎4月25日(水)までに、往復はがきにABの別、住所、☎、参加者全員の氏名、性別、年齢、学年を記し〒215-0035麻生区黒川313-9の同センター。☎(986)2511。

●清泉ラファエラ・アカデミア春期講座

4月開講の英会話▽通訳▽スペイン語▽テニス他29講座の受講生を募集中。場所は同大宮前平キャンパス。☎03(3447)5551の同大生涯学習センター。

●ランチタイムコンサート 春爛漫～弦楽四重奏

4月18日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演はリュミエール弦楽四重奏団。曲目は「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」他。無料。☎(222)8821の文化財団。

●オルガン演奏会

4月20日(金)18時開演、玉川学園チャペル。演奏はペーター・プラニアフスキー(聖シュテファン大聖堂オルガニスト)。バッハ「ソナタ」他。一般2500円、中学生以下2000円。定員200人。☎042(739)8895の玉川大学継続学習センター。

●川崎市民プラザ①さつき寄席②親子の音楽会

①は5月19日(土)18時開演。出演は柳家小さん、柳家三語桜他。大人1800円、小人500円。②は5月6日(日)14時半開演。出演は亀山法男他。無料。当日直接。☎①は4月1日(日)よりプラザフロント他でチケット販売。☎(888)3131。

スポーツ施設使用料改定のお知らせ

平成13年4月1日から、スポーツ施設(とどろきアリーナを除く)の使用料が改定されました。詳しくは各施設にお問い合わせください。

- 川崎市体育館…☎044(200)3255
- 幸スポーツセンター…☎044(555)3011
- 石川記念武道館…☎044(544)0493
- 高津スポーツセンター…☎044(813)6531
- 麻生スポーツセンター…☎044(951)1234

「夜間校庭開放」の申し込み日変更のお知らせ

市内在住・在勤の方で構成されている成人団体を対象に、スポーツ・レクリエーション活動の場として、夜間照明設備のある市内7校の校庭を開放しています。申し込みは、利用予定日の前月の第1土曜日に受け付けていますが、5月及び11月は第2土曜日の5月12日・11月10日に変更になります。

詳細は、当事業団青少年活動事業室までお問い合わせください。☎044(733)5893